

ふれあいのまち



# 松原かわら版

世帯数 1,204 戸  
人口 3,030 人  
高齢化率 25.7%  
(平成 31.2.1 現在)

## もしも、地震が起きたら… 何をするか ご存知ですか？



Q家で地震が起きたら、  
どうしますか？

Q班の集合場所は  
どこですか？

Q何日分の保存食を  
用意すればいいですか？

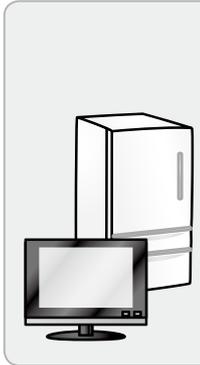
突然聞かれて、あなたは全  
て答えられましたか？

松原地区連合会・松原地区  
防災連合会では、ラミネート  
版シート「地震が起きたら…」  
を皆さんにお配りいたしまし

た。地震が起きた時、避難所  
に行くまでの命を守るために  
必要な行動をまとめたもので  
す。各家庭でもご覧いただき  
ながら「班ごとの集合場所」  
「町会一時集合場所」を話し  
合せて、いざという時に備え  
ていただくようお願い致し  
ます。

### ◎オスソメの保管場所

- ・冷蔵庫のドアに
- ・居間のテレビの近くに
- ・「3日収集日程表と一緒に



## 過去に学び、未来を語る

地区人権啓発推進協議会  
地区公民館が開催している  
「人権講座シリーズ」として  
今回「製糸産業の衰退と大陸  
進出の歴史」と題し、講座と  
平和祈念館の視察が行われ  
た。2月21日は「満蒙開拓史  
／製糸産業の衰退と大陸進  
出」について前長野県立歴史  
館学芸部長の青木先生の講座  
が開催され、受講者は熱心に  
話を聞いていた。

受講後今年89歳になった母  
親に聞いた。母は現在の飯山  
市戸狩、当時の下水内郡常盤  
村の生まれである。小学5年  
生だった昭和16年、一番の親  
友だったT子さん一家が下水  
内郡満蒙開拓団の団長として  
満州に渡ったこと、小学6年  
生の時に同級生のO君がみん  
なに送られて出兵していった  
ことを思い出すように話して  
くれた。悲しいことに全員、  
故郷に戻ることは無かったと  
いう。私が勉強好きではな  
かったせいなのか、特に明治  
以降の歴史を学んだ記憶が、  
あまりない。今回の青木先生  
の講座は、ユーモアを交えな  
がらも今まで多く語られな  
かったつらい歴史の一部を知  
るすばらしい機会になった。

開拓団に加わった人たちは、  
どんな気持ちだったのだろう  
か。まさか、自分たちが満州  
の人たちにとって侵略者とい  
われると思っていたのだろう  
か。

相手のある歴史には、お互  
いの解釈があり、理屈がある。  
それらを学ぶことで、初めて  
未来志向の関係が語れると思  
う。話を聞きながら目頭が熱  
くなった。  
(編集委員)



## 松原こども見守り隊 13年目の今！

日の出前の寒い朝、登校す  
る子どもたち一人一人に「○  
○さん、おはよう！」。松原こ  
ども見守り隊の声が響くと、  
子ども達も「おはようござ  
います！」と返してくる。通  
学路の途中にある2か所の横  
断歩道で7時から8時まで立  
ち、通る子どもたちを見守る。



平成18年9月から10数名の  
隊員でボランティア活動が始  
まった。年間約2百回、朝夕  
登下校の子どもたちと向き合  
い声をかけ、事故がないよう  
見守っている。

午後3時、下校してくる子  
どもたちに「お帰り、気を付  
けて帰るんだよ」…「はい、  
分かった！」。元気に帰って  
いく背中を見送り4時に終わ  
る。

現在隊員の高齢化が進み活  
動されている方は5名。隊員  
の皆さんに聞くと「隊員が減  
る一方で、この先どこまで活  
動を続けられるか不安です」  
と話された。そして、松原地  
区の子どもの安全の一部を  
担うボランティア活動を一緒  
に行っていただけの方を募っ  
ていますと続けられた。

詳しい内容は、第5町会の  
廣田さんへご連絡ください。  
☎090-9667-4470  
(編集委員)

# 平成 30 年度の 思い出



喫茶まつばら  
10 周年イベント



三大疾病講座



赤沢美林ウォーキング



三九郎の組立が  
終わって全員集合

＜編集後記＞  
 本年も「松原かわら版」をご愛読いただきありがとうございます。これからも編集委員一同で松原の皆さんに楽しく読んでいただけるよう、取り組んでまいります。



**ふれあい会食会(3月7日)**  
 松原地区在住の65歳以上の方を対象に地区公民館で食事会とお楽しみ会が催されました。スタッフを交えて約90名で食事をした後は、福祉ひろばのメンバーが中心の「劇団まつばら」の熱演とさすらいのギター流し(第4町会の川崎健史町会長)の歌声を楽しみました。



通算5年にわたって赴任されたインドでの思い出の品々を披露していただきました。

★我が家の自慢★  
 現役時代は大手企業のプラントエンジニアとして海外で活躍された第3町会の広瀬俊一さん。

松原の皆さん、松原の街が大好きでした。大変お世話になりました。



地域のみな様のお役に立てるように頑張りますので、よろしくお願いたします。

松原地区公民館で窓口業務を約3年間勤めて頂いた中本和子さんが、ご主人の転勤のため2月末で退職され、猿田恵理さんに仕事をバトンタッチしました。

## コラム 北の旅人

昨年より、はしかの感染が記録的な大流行になっているようですが、皆さんは大丈夫ですか。

今年に入って全国で124人の感染が報告され過去最高だった2009年を上回るペースで広がっているようです。新聞によると、はしかはインフルエンザの10倍の感染力があり抗体を持っていない人がウイルスに接触すると100%感染するそうです。例えば同じ空間に短い時間いるだけでも空気感染するし、集会では集団感染の可能性もあり、新幹線を使って長距離を移動することも報告されています。これほど感染者が増えた原因は、1978年から2005年の間は1回の定期接種だったため、そのとき予防接種を受けた人達には十分な免疫ができていない可能性があるとも言われています。一度感染すると免疫ができますが、免疫があるのか分らない方は血液検査をしてみてもいいでしょうか。免疫がなく感染経験のない人は、マスクや手洗いで予防できないのでワクチン接種が確実です。  
 (編集委員)